

アーカイブス 通信

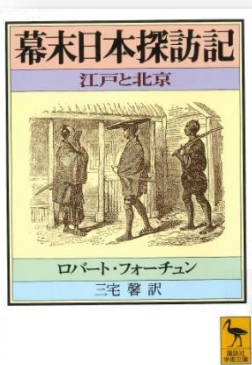
No. 31

新着図書

寿命図鑑

絵 やまぐちかおり / いろは出版 / 2016年8月発行

本書では、動物、食べ物、機械、建物、天体など、13のカテゴリーから324個の「寿命」をイラストとともに紹介。寿命の長さやそれに即した生き方、限られた時を懸命に生き抜く様子が解説されており、「いのち」について見つめなおすことのできる1冊です。



幕末日本探訪記 江戸と北京

ロバート・フォーチュン著・三宅馨訳 / 講談社 / 2012年6月発行

17～20世紀中期にかけてヨーロッパでは、有用植物や園芸植物の新種を見つけるために世界中を探索し活躍した「プラントハンター」という職業がありました。本書は植物学者でありプラントハンターでもある著者が、開国して数年後の日本と北京を訪れた際の見聞記です。植物観察以外にも、民衆の生活や町の様子、生麦事件など歴史的な出来事についても生々しく記録されており、著者の目を通して幕末日本の様子が鮮やかに浮かび上がります。

レファレンス事例

こんなご相談にも乗っています。お気軽におたずね下さい。

Q.中国原産の *Sycopsis sinensis* について調べたい。

A. *Sycopsis sinensis* (シコプシス シネンシス 学名 *Sycopsis sinensis* oliver) はマンサク科シコプシス属の中国原産の樹木です。日本ではまだあまり知られていませんが、中国の四川省や台湾などに分布しています。高いものは14mに達するものもあり、小枝には鱗毛があります。葉は長さ7～14cm、花弁は紅色、実は熟すと2裂します。日本のマンサクと違い、冬になっても落葉しません。マンサクの名前は、枝いっぱい花をつけることから満作といわれた、または、早春の野山で真っ先に花が咲く「先ず咲く」ことに由来するともいわれています。マンサクは早春の都立公園でも見ることができます。

【紹介資料】登録番号07010480 中国高等植物図鑑第2冊
登録番号07011180 植物の世界8



図 2066 (金縷梅科)



Q.小石川後樂園の古いパンフレットを見たい。

A.小石川後樂園は、江戸時代初期、寛永6年(1629年)に水戸徳川家の祖である頼房が、江戸の中屋敷(後に上屋敷となる)の庭として造ったもので、二代藩主の光圀の代に完成した庭園です。左のパンフレットは昭和13年(1938年)4月に、小石川後樂園が市民の公園として一般に公開された当時のものです。みどりの図書館東京グリーンアーカイブスでは、昭和を中心とした公園・庭園のパンフレットを多数所蔵しています。

【紹介資料】登録番号06030155p
史跡名勝 小石川後樂園



ジーキルの美しい庭 花の庭の色彩設計

ガートルード・ジーキル著 恵泉女学院大学園芸文化研究所監修 土屋昌子訳
 平凡社／2008年2月発行

ガートルード・ジーキルは19世紀の終わりから20世紀初頭にかけて活躍したイギリスの偉大なガーデンデザイナーです。彼女は色の魔術師と呼ばれ、計算されつくした色彩設計、植物のフォルムに注目した植栽計画は感嘆に値し、イギリス各所の庭の花壇設計を行いました。この本は、季節毎の植物の組み合わせや植栽する時に気を付ける点などが、ジーキルの言葉で読み手に分かりやすい様に解説されています。素敵な庭づくりのエッセンスが詰め込まれたこの本、あなたの庭づくりの参考になるはずですよ。

明治神宮外苑志

明治神宮奉賛会編 1937年発行

2020年、明治神宮の森は造成後100年を迎えます。7～8月には明治神宮外苑の新国立競技場をメインスタジアムとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

神宮外苑の成り立ちについて詳しく記されているのが『明治神宮外苑志』です。外苑の計画、設計、施工にあたったのは、建造物の分野では伊藤忠太、佐野利器など、造園の分野では本多静六、折下吉延、本郷高德など名だたる技術者たちでした。当初の計画は本書の「明治神宮外苑大体計画図」(図-1)に見ることができます。聖徳記念絵画館の前には広大な芝生とその先にはイチョウ並木が続き、絵画館の北西には陸上競技場があります。初代陸上競技場は1919年(大正8年)に着工し1924年(大正13年)に完成しました。観客収容人数は45,000人、三方のスタンドは芝生法面、メインスタンドのみが鉄筋コンクリート造りでした。その後、民衆のスポーツ熱の高まりにより当初計画にはなかった野球場(明治神宮野球場)と相撲場が建設されることとなります。神宮外苑は二度にわたる工事の中断(1921年の物価上昇による財政難と1923年の関東大震災の被害による)があったものの、1926年(大正15年)10月に完成しました。(図-2)第二次世界大戦終戦後は、連合軍により大芝生地が野球場に変更されたり、1961年(昭和36年)の第二野球場の建設により相撲場がなくなったり、いくつかの変遷を経ながら現在に至っています。

図-1



図-2



※(公財)東京都公園協会緑と水の市民カレッジと明治神宮国際神道文化研究所は2020年にかけて連携を図り、造園文化の発展に資するため覚書を締結し、関連講座等を企画しています。



- 開館時間 : 9:00～17:00
- 休館日 : 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 複写 : 有料
- 資料検索 : インターネットからも検索可能
- データ貸出: 図面・写真・絵はがき・錦絵等の資料の画像データ貸出についての申請方法は図書館職員までお問合せください

〒100-0012 千代田区日比谷公園1-5緑と水の市民カレッジ3階
 TEL.03-5532-1347

- ・東京外丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅下車 徒歩3分
- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅下車 徒歩5分
- ・JR山手線「有楽町」駅下車 徒歩15分